



松浦小学校だより

# まごころ

令和6年5月28日

NO.4 松浦小学校

校長 山崎 秀隆

**本校教育目標 よく学び、よく鍛え、心やさしい児童の育成**

## **運動会へのご協力やあたたかい応援ありがとうございました。**

「96人みんなが笑顔で思い出に残る運動会にしよう」というスローガンのもと、晴天に恵まれ松浦小学校としては最後の運動会を無事に開催することができました。4月から応援リーダーを中心に計画を立て、最初の結団式から気持ちのこもったきびきびとした姿を見せてくれたことにまず驚きました。その後の応援練習や競技・演技の練習でも、気持ちを切らすことなく児童全員全力で頑張り続ける姿に、本番まで気持ちや体力がもつだろうかと心配になるほどでした。しかしながら、子どもたちのパワーや可能性は私たちの想像をはるかに超え、練習ですでに100点でしたが、本番では150点のパフォーマンスを発揮してくれました。

スローガンどおり、みんなの笑顔がきらきら輝く、最後で最高の運動会となりました。今後も頑張り続ける子どもたちに、おうちの方や地域の方からエールを送り続けてください。盛大であたたかい応援やご協力、本当にありがとうございました。



### 「まつら」の「ま」まごころを伝えるコーナー

朝、学校下の押しボタン式信号機のところに立っていると、ボタンの近くまで来た6年生の女の子がボタンを押さずにじっと待っていました。ボタンを押さないと信号が変わらないのになあと思っていると、登校班の後ろのほうから走ってくる下級生の姿が見えました。その女の子は、下級生が歩行者用信号に間に合って一緒に渡れるようにボタンを押すタイミングを図っていたのでした。さりげないしぐさですが、まごころがこもっていて心が温くなりました。

**裏面もあります**

# 全校道徳をしました！

「押しボタン式の信号を押して横断歩道を渡ったときに、おじぎをしたほうがいいのか。」と児童に問いかけました。「自分のために止まってもらったのだから当たり前でもしたほうがいい。」「自分のためではなく、信号が赤になったら止まらないといけないから止まった。だからしなくていい。」といった様々な意見が出ました。どの意見も間違いではなく、子どもたちの素直な考えが出ていて私自身も大変勉強になりました。大人が思っている以上に子どもたちは深く考えているのがよく分かりました。感想の一部を紹介します。



- おじぎってすごいな。おじぎをいっぱいしてみんなをえがおにしたい。(1年)
- ありがとうという力はすごい力があるとわかりました。まつうら小学校の人もできている人がいたのですごいと思いました。(2年)
- これから当たり前(と思っている)こともありがとうと言っていきたい。ごはんもこめあらいとせんたくをしてもらったときにもありがとうを言いたいです。(3年)
- 自分で(ボタンをおして)赤にして、止まってくれたからお礼をしたほうがいい。(4年)
- これから当たり前にしてもらっていることに感しゃを伝えたら、伝えられた相手や伝えた自分も笑顔になると思うから、感しゃを伝えていきたいです。(5年)
- 止まってくれた人の時間をもらって歩いているということだから、「時間を使わせてもらってありがとう。」という気持ちを伝えるには礼をすることで伝えることができると思いました。実際に礼をすることで笑顔になってくれる人もいたし、逆に礼を返してくれる人がいました。だからこれからも礼をしていきたいと思いました。(6年)

## 今後の主な行事予定

- 5月29日(水) 夢の広場① 人権・同和教育
- 30日(木) プール掃除
- 31日(金) 耳鼻科検診
- 6月3日(月) リレーうちどく いじめ・心のアンケート(～7日)
- シラミ検査(～14日)
- 4日(火) 交通安全教室(3～6年生)
- 5日(水) 全校朝会 フッ素開始
- 6日(木) 眼科検診 歯科検診、ブラッシング指導
- 10日(月) 教育相談期間(～14日)
- 12日(水) 不審者侵入避難訓練
- 16日(日) 家読の日
- 17日(月) プール開き週間(～21日)
- 24日(月) クラブ活動(4～6年)
- 26日(水) 夢の広場② 人権・同和教育
- 27日(木) 第2回育友会運営委員会



このQRコードを読み込むと学校HPにつながります。

裏面もあります